

第13回 第3分科会会議録（概要）		場 所	新宿区役所第1分庁舎 研修室
日 時	平成17年12月22日 午後6時30分～午後8時30分	記録者	【学生補助員】 大音、羽場
		責任者	区事務局（黒澤）
会議出席者：48名 傍聴者0名 （区民委員：33名 学識委員：2名 区職員：10名 コンサル：3名）			
■配布資料 <ul style="list-style-type: none"> ● 第3分科会（第13回）次第 ● 第3分科会（第12回）議事録（概要） ■進行内容 <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 グループディスカッション 3 閉会 ■会議内容 <p>【発言者】●：区民委員、◎：学識委員、○：区職員、▲：コンサル</p> 1 開会 <p>◎：皆さんこんばんは。第3分科会の第13回目を始めます。 本日の資料は、次第と前回の議事録のみとなっております。お手元がない方はお声をかけてください。本日の進行ですが、8時半を目途にグループディスカッションを終了していただく予定であります。と申しますのは、次の1月10日、それぞれグループで発表していただく予定になっておりますので、グループリーダーにその後残っていただいて、次回の発表をどうしていくかということ打ち合わせしたいと思っております。検討記録の方も8時半までということで、それに間に合うように仕上げさせていただきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。 それでは、司会を●●さんにお預け致しますので、宜しくお願い致します。</p> <p>●：皆さんこんばんは。それでは最初に、12月12日に区役所において、各分科会のグループリーダー、ワーキンググループの打ち合わせがありました。そのことあらましをご報告致します。かねてからお話のとおり、2月19日の日曜日に「中間のまとめ発表会」を開催する訳ですが、主だったスケジュールです。今のところ決定したのは、会場は筆筈町区民ホールでございます。9時くらいから皆さんで集まって準備をし、10時に開会します。まず、代表の挨拶、区長の挨拶がありまして、各分科会制限時間20分で各分科会の活動報告を中間発表ということで行います。6分科会ある訳ですから、120分、2時間です。10時から始めまして、一応12時半までということになっています。これには先程も申しました代表の方と区長の挨拶も含めまして、最後に10分程度学識経験者の中から、講評をしてい</p>			

たきます。この時間も含めまして、一応 12 時半に終わる予定です。その後、我々の分科会でも他の分科会との交流やいろいろな話し合いが、今まであまりなかったもので、それを踏まえて共通する話題、あるいはその他のことについての交流の場を設けるようにします。それがお昼休みを挟んで 1 時半位から始めます。これは各分科会で責任をもってやるということで、時間の制限はなしということですから、各分科会 1 時間くらいで終わればそれでよしと。2 時間 3 時間くらい続くところがあれば、それはそれなりに各分科会でやる。一応平均的に言えば 2 時間くらいが限度と言うことになるのですが、一応そういうことで進めるようにします。それから、当日の役割分担があるのですが、その辺については区役所にやってもらうことと我々区民がやることと大まかな分担をしましたので、その辺については、後ほど話があると思うので、後でほんの数分時間が空いたら、打ち合わせしたいと思います。それともう一点は、一般区民の方にお知らせをするのにどうするかという事ですが、広報紙やチラシ、ポスターなど、いろいろな形で周知する訳ですが、その辺の内容ややり方は、第 1 分科会の方が責任を持ってやっていただけるということなのでお任せしてあります。以上です。それから次回のワーキンググループの会議は 1 月 17 日、6 時半から 2 時間程度でやることになっておりますので、それまでにいろいろ第 3 分科会のいくつか宿題については、また持って行って話し合いをしたいと、そんなスケジュールになっておりますので、宜しくお願い致します。では、本日は先程もお話がありましたように、限られた時間での討議ということになっておりますから、十分に認識した上で話し合いをしていただきたいと思います。補足ありますか？

- : 若干補足させていただきます。各分科会 20 分というすごく短い時間しか発表の場がございません。その補足という形で一分科会で A4 版 40 ページ分の資料の作成は可能ということになっております。ですから、うちの分科会ですと 9 つのグループがありますので、A4 で裏表 4 ページ 2 枚分、総論を代表の方に発表していただいて、核論については、例えばまち並み・景観だったらまち並み・景観で、こういうことを考えているということを裏表 4 ページの資料を作っていただいて、それを当日参加していただいた方に配る様な形になります。ですからマックスですと、6 分科会ありますので 240 ページの資料がお一人ずつに渡る様な形になるということです。そのような形にしないとやはり 20 分で 1 つの分科会の説明は出来ないだろうということになっておりますので、各グループで目安は A4、2 枚分、裏表で 4 ページです。これをどのように作っていくかということも今日検討して下さい。と言いますのは、次会に大体各班 10 分くらい発表していただいても 90 分かかります。それをまたまとめてどなたかリーダーの方に 2 月に 20 分にまとめる訳ですから、それを踏まえた部分を検討していただけたらと思います。宜しく申し上げます。短い時間ですが、大体 8 時半で本日は終わる予定ですので。

本日の報告書の方に大体どのくらいの資料を作る、それからどなたが次回発表する予定だということも書いていただけますとその後の作業が楽になりますので宜しくお願いします。以上です。それでは各班で作業を始めて下さい。

[グループ討議]

グループ討議の内容（検討記録よる抜粋）

① 魅力と賑わい

② 歴史と文化

・ 検討項目

施策の体系表の組み替え

点（史跡、文化財）

文化資源の保護と文化環境づくり

歴史的建造物の保存・修復を行う建築物の扱い

アートミュージアム

創造文化都市新宿の文化づくり

デジタル新宿文化村

道路オープンカフェでの文化活動

歴史的町名の維持、復活

歴史・文化の掘り起こしと発信

ビジター産業

担い手、仕組みづくり

③ 住まい・暮らし

・ 検討項目

住まいと暮らしも全てがユニバーサルデザインにつながるという考えから、ユニバーサルデザインの課を立ち上げて、協働でユニバーサルデザイン研究会を作ることを提案。

あるゆる面で行政のサービスが限界が来ている今、区民は自分たちの地域は自分たちで、暮らしと住まいを良くしていくために声を上げていくことが必要。そのための意識面での普及と意識改革の活動を続けていくことが必要。

<具体的検討項目>

・ 道路の掘り起こし

・ 家族構成がスライド制公共住宅について

・ 車いすの方や杖歩行の高齢者なども使いやすいもの。

・ 高齢化から高齢社会になるスピードが早くて周りの体制が追いつかない。スピ

ードを早くして合わせていく必要がある。

- ・ことぶき館を壊して代替が用意できない現状がある中で、今後は高層ビルの建物に共有スペースとして居場所を作ってもらおう。

④ 超高層建築

- ・ 検討項目

<住宅棟の超高層建築>

市ヶ谷本村マンション計画の事例で討議

積極に取り組むべきではない。

- ・ 街並みとしてそろえる
- ・ 周辺の景観に合わせて、2, 3棟の中層建築にする
- ・ 車の発生に伴い道路の整備が必要
- ・ 地下を作った場合、地下水等の水の問題発生

区としてプライオリティーを考える。

- ・ 超高層建築にして公開空地に緑が必要ならば、区が土地を購入して公園にする

⑤ みち・ネットワーク

⑥ 安全・安心

- ・ 検討項目

<自助>

- ・ 火を出さない
- ・ 町会によって装備、備えがバラバラ
- ・ 避難所の水、トイレの確保

<共助>

- ・ 町会に最低1名は、防災アドバイザーを配置する
- ・ ホームレスの対応
- ・ 初期消火、人命救助、防災住民組織の構築、役割分担の明確化

<公助>

- ・ 災害対策緊急支援
- ・ 電線の地中化
- ・ 一時避難所の整備と運営
- ・ 防災マニュアル・マップの配布
- ・ 防災無線の活用

⑦ まちなみ・景観

⑧ うるおい・公園

・ 検討項目

すべての公園が機能をすべて持つことはできない

⇒規模と場所を考えて機能を定める

「区政モニターアンケート」を参考にした方がよい

現在ある公園をすべて見直す←近隣の意見を取り入れる

- ・ 早く直す or ゆっくり直すの順位付け
- ・ 適材適所に置ければいいが、将来を見越して出来るならば公園にしていく
- ・ 開発行為に伴う公園確保
- ・ 利用状況・植栽現況の調査
- ・ 公園の機能（子供専用、一般用 etc.）別に整備、名称検討
- ・ しんかいばし児童遊園のワークショップを参考に

⑨ 支えあい・仕組み

・ 検討項目

- ・ 西新宿3、4丁目再開発、職安通り整備等について 事例をもとに地元組織のあり方について、現況と課題、将来的な体制のあり方について議論した。
- ・ 新宿駅周辺地区協議会としてはエリアが広すぎ、西新宿3、4丁目について、的をしぼる体制にはなりにくい、地区協議会、区民会議等での現在の議論が次第に支援の声となりつつある気配がある。
- ・ 職安通り整備については、現在、整備の方針も計画もみえないのでマスタープランにその方向を盛り込むとともに、それを協議する組織が必要。これには関連する地区協議会が連携していくという体制も必要。
- ・ 区の好きなビジョンと各地区のビジョンとを同時に進めていく姿勢が必要。
- ・ 地区の色々なテーマを地区で扱う事がコミュニティ形成にとって重要になる。
- ・ 住吉町地区はまちについての活動は殆どない。若松地区協議会にも参加していない。商店会もテナント化しており、活動が見られない。
- ・ 現在の課題別検討が足かせになっている。他の新たな人間の参加を望んでいない感じがある。このような地区への対応をどうするか。

閉 会